



社会福祉法人 愛徳福祉会

大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

大阪発達総合療育センター機関紙
第35号 2019年秋

INDEX

・特集に寄せて……………1P	・ママ達の出会いと交流の場「ママカフェ」……………3P
・特集に寄せて……………1P	・リレーエッセイ……………3P
・保育所等訪問支援事業	・イベントトピックス……………4P
セラピストも出勤開始!……………2P	・職員研修実績状況……………4P
・当センターでの職業体験について……………2P	・寄付金と寄付物品……………4P

■特集に寄せて

大阪発達総合療育センター センター長

鈴木 恒彦



今回の葦では、第30回重症心身障害療育学会で「生活介護事業所におけるアドバンスケアプラン」を発表された療育部長の稲田氏が読売療育賞・敢闘賞を見事受賞されたこと、栄養科主任の嶋田氏の近肢連絡食部会研修会での「嚥下調整の取り組み」の事例発表、今年40周年を迎えた港分園からあさしお園の運動会とゆうなぎ園のおたのしみ会の報告、菅氏による少林寺拳法の紹介がリレーエッセイとして載せられています。11月には川端院長が第30回日本小児整形外科学会を盛会に主催された年でもありました。国中を興奮させたラグビー日本代表チームの“ワンチーム”にあやかり、職員皆で令和元年の師走を心一にして駆け抜け、希望の新年を迎えたいものです。

■特集に寄せて

南大阪小児リハビリテーション病院 院長

川端 秀彦



夏から秋、秋から冬へと季節の移りかわりが感じられるこの頃です。2019年は季節だけでなく時代がかわりました。そして令和元年という大きな節目を経験して当センターも次の時代に舵を切ろうかという意気込みが各所に感じられます。中長期計画の策定・50周年記念事業の準備など、通常業務に加えて職員の皆さまには多忙な一年を過ごされたことと思います。流行語大賞にも選ばれたoneteamですが、これはチームのために個人を捨てるという意味ではなく、各人がそれぞれの立場で最大の努力をすればチームもおのずから最高のものになるということです。

今回の特集で焦点をあてられた人たちはもちろん、ひとりひとりのさらなる活躍・飛躍を祈念しています。



読売療育賞 敢闘賞 受賞

療育部 部長 稲田 律子

令和元年10月3日(木)から4日(金)に新潟県長岡市で行われた公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会主催の第30回重症心身障害療育学会学術集会で、なでしこ利用者の事例を通して「基幹病院と協力して作成した生活介護事業所におけるアドバンスケアプランニング(ACP)」という演題で発表させていただきました。なでしこでACPに取り組み利用者のQOLが高まり、家族間の意思決定の明確化、逝去後の家族の精神的な負担の軽減を図ることができた結果を発表しました。

この学術集会は厚労省、読売光と愛の事業団が後援となり開催されています。

この度、読売光と愛の事業団による読売療育省「敢闘賞」を受賞しました。

今回の学術集会でACPに関する発表は他にありませんでしたが、質問をいただいた内容などから積極的に取り組んでいる施設は少ないものの関心は深いことがわかりました。

私が本事例研究を行うために調査した中でも、日中支援におけるACPの取り組みの報告はありませんでした。

今回の賞は、本学術集会の「重症心身障害児者療育事業の向上・発展に寄与する」という目的に対して、当センターのACPの取り組みと基幹病院との地域連携に対して評価していただけたものと思います。

生活介護事業所においては、職種、人材、場所など環境的な要素、ACPに取り組む時期が特に問題となり難しいですが、今後もなでしこの利用者とその家族のQOLを高めるために、スタッフ、家族との話し合いを繰り返すことで理解を深め、積極的にACPに取り組んでいきたいと考えます。



『近肢連絡給食部会研修会』報告

栄養科 主任 嶋田 容子

8月24日(土)当センター5Fホールにて近肢連絡給食部会が開催されました。

28施設90名と多くの方々にご参加頂きました。

研修では給食での取り組みとして守口市立わかかさ・わかすぎ園の「子供の食への支援」や当センターの「嚥下調整の取り組み」の事例発表を行いました。発表内容はアレルギー食や偏食への対応や発達期嚥下調整食分類2018での取り組みについてでした。

また株式会社宮源による発達期嚥下調整食分類2018に基づいて「宮源のお粥」を用いた簡単まとまりペー

ストのデモンストレーションを実施して頂きました。

事例発表やデモンストレーションを通して給食の悩みなどを共有できる機会または、新たな取り組みに繋がっていただける機会になったのではないかと思います。

参加者のアンケートでも実際に施設でも検討してみたいや施設に持ち帰り他職種と情報を共有していきたいなど多くの意見を頂きました。

今後も研修会を通して様々な情報交換の場となればと思います。



あさしお園 「元気っこ大集合」

10月19日(土)恒例あさしお園運動会を開催しました。たくさんのご家族様に見守られ、こどもたちは普段以上の力を発揮してくれました。

今年度、父母会の方からお散歩カートをご寄付いただきました。すぐに子ども達に大人気な乗り物になり、公園さんぽだけでなく、園内散策にも活用しています。



ゆうなぎ園 「おたのしみ会」

10月2日(水)、手話うたパフォーマーの藤岡さん、フルート奏者の今井さん、ピアニストの熊井さんをお迎えてのコンサート(おたのしみ会)がありました。熊井さん(職員)の魅力的な歌声と藤岡さんの手話パフォーマンスにピアノとフルートの演奏があわさり、園児や保護者の方々もうっとり聞き入っていました。また、手話による絵本の読み聞かせや子どもたちのお気に入りの歌もあり、楽しい雰囲気と笑顔にあふれながら、あっという間に時間が過ぎていきました。最後はみんなで記念撮影!また会える日を楽しみにしています。



あさしお園・ゆうなぎ園事務

菅 啓造

分園(あさしお園・ゆうなぎ園)事務の菅です。本園のフェニックスでは私の息子のゴンが大変お世話になっております。

最近になってポッチャにはまったりピアノを弾いたりしていますが、学生時代にやっていた少林寺拳法も再開しました。

少林寺拳法と聞いてみなさんはどんな想像を?中国拳法のようなカンフーを想像する方が多いかと。実は全く違って、少林寺拳法は戦後日本で新たに創られた武道で、自他共楽の社会と福祉の為の人づくりを目指した武道であり、道院という所で法型と言われる型を

主に練習します。板割りや瓦割りや胡桃割りなどは決してやりません。

少林寺拳法では「護身練胆・精神修養・健康増進」を三徳といい、運動がてら再開しましたが、自分が思っているほどには動けない、蹴りの足が上がらないのはあくまで数十年のプランクのせいであり、決して歳のせいではないと言い聞かせながら修行に行っています。

今回のリレーエッセイは、ゆうなぎ園ST、湯村ますみ職員です。お楽しみに。



イベントトピックス

なでしこバザー



毎年恒例のなでしこバザーが開催されました。
なでしこ利用者様と職員と一緒に物品等の販売を行い、今年も大盛況でした。

職員研修実施状況 令和元年7月～9月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
令和元年7月3日(水) 17:40～18:40	運営局	事業説明会	梶浦正 運営局長	86名 (内、分園13名)	5階ホール
令和元年7月10日(水) 17:40～18:40	感染管理委員会 教育研修部	感染管理対策研修 「標準予防策」	大阪府済生会泉尾病院 感染管理認定看護師 田中ちよ 氏	101名	5階ホール
令和元年7月22日(月) 17:40～18:40	教育研修部	TSURUMIこどもホスピスの 活動状況について	TSURUMIこどもホスピス ゼネラルマネージャー 水谷綾 氏	72名	5階ホール
令和元年7月24日(水) 17:40～18:40	教育研修部	人権研修 地域自立支援研究プロジェクト学習会 「グループホーム ほんわかあゆみ」	岸田美智子 氏	39名	5階ホール
令和元年8月21日(水) 17:40～18:40	教育研修部	人権研修 地域自立支援研究プロジェクト交流会	岸田美智子 氏	26名	1階理学療法室
令和元年9月18日(水) 17:40～18:40	教育研修部	人権研修 地域自立支援研究プロジェクト学習会 「入所施設の課題 意思決定支援について考えよう」	岸田美智子 氏	32名	5階ホール



大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

(R1.7～9)

(R1.7～9)

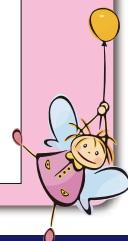


一般寄付金

月	寄付者 (敬称略)	
7月分	匿名 2名	本園
	7月分楽基金 6件	
8月分	西野俊一	
	フェニックス家族の会 (花火大会)	
9月分	8月分楽基金 9件	
	藤 博行	
	9月分楽基金 8件	

寄付物品

寄付者 (敬称略)	物品名
今川 妹子	浮輪
匿名	ピアノ (椅子、カバー付)
出野 彩佳	DVD、絵本
匿名	吸引器、蒸留水
匿名	おもちゃ (電池含む)



大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会
発行責任者・梶浦一郎

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)
主として重症心身障がい児者
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児
いぶき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)

〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134

訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)
TEL:06-6699-8855 FAX :06-6699-8856
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)
TEL:06-7506-9223 FAX :06-6699-8856
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児
〒552-0004 港区夕凧2-5-3
TEL:06-6574-2521 FAX :06-6574-2524